

子どもの居場所についてのアンケート（令和2年8月）より

令和2年8月に、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が小金井市子ども家庭部子育て支援課の協力のもと、子どもの居場所に係る運営団体を対象に子どもの居場所についてのアンケートを実施。53団体からアンケート回答があり、そのうち下記質問について29団体から回答があった。

小金井市子育て支援課からの質問です。現在活動する中で課題と感ずることがあればご記入ください。
（自由記述）

（広報）

- ・件数 6件
- ・主な回答 広報が行き届かず、新規利用者が集まらない。
あまり宣伝をせずに（多くの参加者では困る）、本当に支援が必要な子どもに来てもらうための方法が見つからない。

（場所）

- ・件数 4件
- ・主な回答 特にコロナ禍では、会場の選択肢が限定される。
新設したいが、基準を満たす物件（場所）を見つけるのが難しい。
警察の道路使用許可を得るまでに時間がかかる。

（資金）

- ・件数 3件
- ・主な回答 活動資金不足。そのため行えない活動もある。

（行政、学校との連携）

- ・件数 2件
- ・主な回答 担当課との連携が取りにくい。
生徒の特性等について学校との情報交換の場が少ない。

（スタッフ）

- ・件数 1件
- ・主な回答 運営スタッフの不足により、多くの新規の子どもの受け入れは困難

（コロナ禍による活動制限）

- ・件数 6件
- ・主な回答 コロナ禍により子どもが集まる活動がしにくい（できない）。
子どもたちの活動が制限される（特に飲食）。